

スクリーンキット(ショートタイプ・スモーク) 取扱説明書

製品番号 09-11-0008

適応車種 Z125 PRO (BR125H-A02621 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんので御注意下さい。
- ◎当製品の装着には、メーターバイザー部のカウルに穴あけ加工が必要となります。
加工する穴寸法は、直径9.8mm (9.6mm~9.9mm)ですので、作業開始前に工具をご用意下さい。
- ◎補修部品に付きましてはリペア品番にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特徴～

- Z125に合わせてデザインした、弊社オリジナルの小型でスタイリッシュなスクリーンです。
- スクリーンは高品質なポリカーボネイト製。 精悍な雰囲気と際立つスモーク仕様となります。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- スクリーンが汚れた場合は、大量の水をかけながら、柔らかい布かスポンジで拭いて下さい。
スクリーンは傷つきやすいので、ブラシなどを用いた洗浄は避けて下さい。(スクリーンに傷がつく原因となります。)
- スクリーンの汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用し洗浄して下さい。酸またはアルカリ性洗剤、有機溶剤を使用してお手入れは避けて下さい。
また、バッテリー液やブレーキフルード、冷却水やエンジンオイルなどがスクリーンに付着しないようにして下さい。
(スクリーン変質や破損の原因となります。)
- 車体カバーを被せた状態で駐車する場合は、日光の当たらない風通しの良い場所に止めて下さい。
(カバー内に熱がこもり、スクリーンが変形する恐れがあります。)
- 車体カバーをご使用になる場合は、スクリーンに無理のかからないサイズの物をご使用下さい。
(スクリーンが変形したり、ステーが曲がる恐れがあります。)
- スクリーンに直射日光が当たらないように駐車して下さい。
(スクリーンの反射で日光が収斂し、車両や周りにある物を傷める恐れがあります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- 走行前には、スクリーン及びスクリュー、ボルト、ナット類が確実に固定されているか確認して下さい。
(取り付けが不確実な場合、走行中にスクリーンが脱落し、乗員または後続車の乗員や歩行者を死亡、または重大な障害を与える原因となります。)
- スクリーンの装着により、空力特性が変化する可能性があります。取り付けした最初や、風の強い日は、車両の挙動変化の様子を確認しながら走行して下さい。(予期せぬ挙動変化により、事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部品名	個数	リペア品番
1	スクリーン(ショート・スモーク)	1	64100-BR1-T10
2	ウェルナット M5×0.8 ロングタイプ	4	00-00-0493
3	ボタンヘッドソケットスクリュー 5×20	4	00-00-0494(4個入)
4	アルミワッシャ 10MM	4	00-07-0010(10個入)

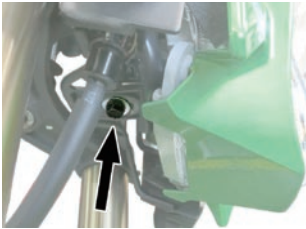
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます

1. 純正メーターバイザーに穴あけ加工を行う為、ヘッドライトユニット下部にある光軸調整ボルト及びカラーと、ヘッドライトカバー両サイドのmountボルトを取り外し、ヘッドライトカウルごと車両より前方にずらします。



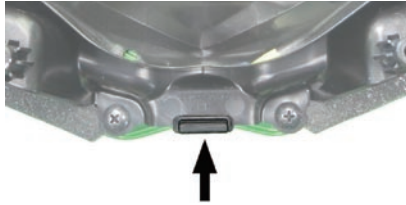
2. 車両メインハーネスと接続されているコネクタを外し、ヘッドライトカウルを車両から取り外します。



3. 取り外したヘッドライトカウル裏面のヘッドライトユニットマウンティングスクリュー4本を外して、ヘッドライトユニットを取り外します。



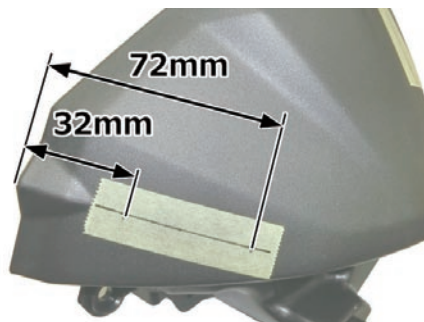
ヘッドライトユニットを取り外す際、メーターバイザー内側の中央部下側の突起部に、ラバー製のダンパーという部品が付いていますので、紛失しないように注意して下さい。



4. ヘッドライトカウルとメーターバイザーを固定しているタッピングスクリューを外して、メーターバイザーを取り外します。



5. メーターバイザーの上端面サイドにある、突起の延長線上に穴加工しますので、マスキングテープなどを貼り付け、穴位置に印を付けやすくします。左右共に、突起の先端から突起の延長線上の32mmと72mmの位置に印を付けます。



6. 穴をあける前にスクリーンをメーターバイザーにあてがい、穴位置があっているか確認して下さい。実際にはウェルナットのフランジ部とアルミワッシャの厚み分(約6mm)、バイザーから浮いた位置になりますので、浮かせた状態を想定してご確認下さい。

7. 穴位置に問題がなければ、メーターバイザーへ印をつけた位置にウェルナットを取り付ける為の穴を4箇所あけ、ウェルナット M5×0.8 ロングタイプにアルミワッシャ10MMを通して、穴に差し込みます。穴寸法: 9. 8mm(9. 6mm~9. 9mm)



8. 再度スクリーンをあてがい、穴に取り付けたウェルナットと、スクリーンの穴位置が合っているか確認します。問題なければ、ウェルナットとアルミワッシャを一旦取り外し(作業中の落下や紛失防止の為)、メーターバイザー及びヘッドライトカウルを分解した逆手順にて車両に元通り取り付けします。メーターバイザーとヘッドライトユニットの間にあるラバー製のダンパーが正しく取り付けられているか注意して下さい。

9. 再度メーターバイザーにウェルナット M5×0.8 ロングタイプにアルミワッシャ10MMを通してから、穴に差し込み、スクリーンをボタンヘッドソケットスクリュー 5×20で固定します。



10. スクリーンの取り付けが終わりでしたら、スクリーンとメーターバイザーなどの干渉が無いか、またヘッドライトの光軸確認及び必要であれば調整を行い、安全が確保できる場所などで低速で走行し、各部に緩みや振動といった異常が無いか確認してから走行を開始して下さい。